



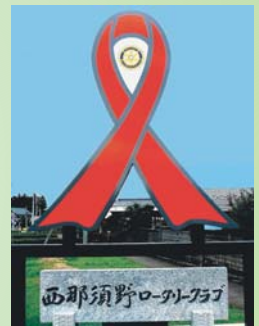
Service Above Self (超我の奉仕) 西那須野ロータリークラブ週報

Nishinasuno Rotary Club Weekly

・角橋 徹 西那須野ロータリークラブ会長テーマ・

親睦と奉仕の喜びを共有し
ロータリーを心から楽しもう

第2176回(本年度21回)2017. 1. 10



RIテーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY



地区テーマ

元気なクラブ作りと
誠実な職業奉仕



開会宣言・点鐘 会長 角橋 徹君
司会 SAA 氷見 定明君
ロータリーソング (我らの生業)

第3：ロータリアン 一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4：奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

会長の時間

会長 角橋 徹君

改めて、皆様2017年(平成29年)明けましておめでとう御座います。本年も宜しくお願い致します。

年明け早々に、国際・社会・経済情勢などが大きく変動しようとしておりますが、私達はそれぞれの地域社会において日々職業に励みながら、家族、地域社会、日本、そして世界が平和で安定した幸福な社会に成熟することを望みながら生活し、そして、その実践集団として世界200以上の国、地域で34,000クラブ、120万人の会員を有するロータリーの目的に賛同して、ここに集っております。

私達は、常にロータリーの基本理念を大切にしてい、ロータリーの目的を充分理解、実践することがロータリークラブ活動であることを自覚しなければなりません。

昨年来の繰り返しですが、ロータリーの目的は、第1：知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2：職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。

人によつての相違はありますが、私など特にそうですが、繰り返し学習することによって記憶として覚えるものです。ですから、常に初心に戻ってロータリーとは？そしてロータリーの目的とは？と、これを自問自答しては如何でしょうか？

目的があれば、目的達成のための行動規範があり、その規範が「四つのテスト」です。更に具体的な行動体勢として「五大奉仕部門」が存在しております。

私ごとですが、クラブ入会当初はロータリーに対して掴みよりの無い漠然としたイメージしかなく、何となく凄い組織だな～と感じて、毎週の例会出席することが精一杯でしたので、奉仕の何た

本日の例会プログラム

12:30	開会宣言・点鐘	角橋 徹会長
12:31	ロータリーソング (四つのテスト)	
12:33	お客様紹介	角橋 徹会長
12:34	お食事の時間	
12:49	委員会報告	各委員長
12:51	幹事報告	鈴木 明裕幹事
12:54	会長の時間	角橋 徹会長
13:00	2016-17年度 上期決算報告	
13:02	新入会員卓話	自己紹介と私の職業 伊藤 悟会員
13:10	職業奉仕月間(私の職業)	小中一成会員
13:18	職業奉仕月間(私の職業)	柳場美枝子会員
13:26	スマイルボックス報告	
		太田 仁スマイルボックス委員長
13:29	出席報告	猪瀬康雄出席委員長
13:30	閉会宣言 点鐘	角橋 徹会長



幹事報告

幹事 鈴木 明裕君

- 角橋会長が参加いたしました養徳園のクリスマス会のお礼状が届いております。
- アジア学院からお礼も兼ねたクリスマスカードが届いております。
- 黒磯RCと茂原中央RCから週報が届いております。
回覧いたしますので例会終了時に私までお戻し下さい。
- 1/17 通常例会です。
- 1/24 通常例会です。
- 1/31 夜間例会です。米山の徐さんが回復し帰国し参加の予定です。
- 2/5 (日) 那須野ヶ原剣道大会が開催されます。
- 2/12 (日) IMが開催されます。
- 後期の地区資金の支払いがありますので、後期の会費納入を忘れずにお願い致します。

理事会報告

次期会長 小出 文雄君

議題 1 1月10日 通算2176回 本年度21回

入会式 伊藤悟君

結婚・会員誕生・配偶者誕生

在籍年数・皆出席祝
理事会報告
幹事報告
会長の時間

小中親睦委員長
猪瀬出席委員長
小出会長以外
鈴木幹事
角橋会長

るかなど到底理解していませんでした。しかし、在籍年数を重ね、委員会活動参加、地区事業への参加、そして委員長、理事を経験しながらロータリーへの理解度を深め、5年前の片柳会長年度の幹事を務めさせて頂いたお陰で、ロータリーの全体像を把握、理解することが叶いました。これは例会に於ける諸先輩からの指導・助言のたまものであり、特に片柳元会長年度には非常に多くの勉強をさせて頂き、皮肉ではありませんが言葉には言い表せない程、感謝しております。

取り留めの無いお話を致しましたが、ここはロータリークラブです。ロータリーの基本理念を大切に、今年度テーマとさせて頂きました「親睦と奉仕の喜びを共有し、ロータリーを心から楽しみましょう」を後半も実践させて頂きますので、皆様のご協力の程お願い申し上げます。

更に、後半は会員増強に注力致しますので、渡邊渉委員長、片柳洋筆頭副委員長始め13名の副委員長の方々、そして全会員の皆様、何とか5% (2名) 以上の会員増強にご協力下さい。成果ゼロでは、恥ずかしい限りですので宜しくお願い致します。

また、本日は「ロータリー財団100周年記念事業：こどもの夢・食事を伴うこどもの居場所」を運営するNPO法人キッズシェルター代表：森田野百合様、同事業への取材のため下野新聞社那須塩原支局：青柳修様、毎日新聞大田原通信部：柴田光二様のご来訪を頂き、真にありがとうございます。当西那須野ロータリークラブはロータリーの基本理念に基づき、五大奉仕うちの職業奉仕及び社会奉仕活動として他のクラブには無いような「人道的な支援、地域の暮らしと、より良い社会づくり」への奉仕活動を実施しておりますので、是非とも機会がありましたら取材を通じて広く地域社会の皆様にお伝え頂ければ幸いです。



12月23日 クリスマス会

養徳園ではユニット毎に行います。

子どもが寝静まってからプレゼントは枕元へ



西那須野ロータリークラブ会長
角橋徹 様
クリスマス会ありがとうございました

平成一十八年十二月十八日
養徳園長 福田雅章
取巻

財団100周年記念「こどもの夢・食事を伴う
こどもの居場所」の現況報告
森田野百合様

同上オンライン売上金贈呈

1月17日 通算2177回 本年度22回

会長の時間 角橋会長

幹事報告 鈴木幹事

那須野ヶ原剣道大会について 外来卓話

山口先生

友の記事紹介 益子情報雑誌委員長

上期決算報告 荒川会計

第7回理事会 13:30～

1月24日 通算2178回 本年度23回

会長の時間 角橋会長

幹事報告 鈴木幹事

会員卓話 小中一成君

1月31日 通算2179回 本年度24回

会長の時間 角橋会長

幹事報告 鈴木幹事

米山記念奨学金授与

夜間例会

議題2 2月5日(日)8:30～

第26回 那須野ヶ原剣道大会の開催

高柳運動公園体育館にて

協賛金 100,000円 表彰状外注に注文

議題3 研修会開催

1月14日 職業奉仕研究セミナー

出席者 片柳委員長・角橋会長・鈴木幹事

1月14日 国際奉仕委員長研修会

出席者 小関委員長

1月28日 青少年奉仕セミナー

出席者 生駒副委員長・角橋会長・小出会

長以外

議題4 IMについて

2月12日(日) りんどう湖ロイヤルホテルにて

14:00 登録 14:30 点鐘 当日バスの手配

議題5 クリスマス会参加会費他

協力金1人 5,000円 1品持寄り(持参なしは2,000円)

議題6 伊藤悟様入会承諾の件

議題7 財団2015-16年度「100%ローター-財団寄付クラブ」受賞

次年度地区大会に表彰になります

議題8 1月中に家族集会の実施(益子ローター-情報雑誌委員長)

テーマクラブの活性化・各種会員種別導入について

会員増強について

議題9 会員増強委員会の開催(渡邊渉会員増強委員長)

具体的な会員候補者特定及びアプローチの検討

議題10 西那須野防火協会より小中学生対象の防火標語募集への協賛金(30,000円)の依頼

2月に消防署長に外来卓話を依頼

議題11 こども夢・食事を伴うこどもの居場所に

関して財団補助

事業として実施しているので会員の理解と協力を継続的に参加をお願いする

「ロータリーの友」1月号紹介

ロータリー情報・広報委員長 益子 浩君

1) 横組P1 ジョンF. ジャームRI会長メッセージ

問題解決に導く

今月のRI会長メッセージには、以下の事が書かれていました。

今年、国連の「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」が2年目の年でもあります。SDGsが目指す最終的な目標は、すべての人々が、平和、繁栄、安全、平等を享受できる世界の実現にほかなりません。

このようなプロジェクトに対し私たちロータリオンは「一歩ずつ」進めていく、ということです。SDGsの17項目すべてが、ロータリーの6つの重点分野と同様、互いに関連し合っていることを理解しています。清潔な水がなければ健康は維持できません。衛生環境が整っていなければ清潔な水は確保できません。衛生環境を整えば子どもたちは学校へ行くことができ、結果として教育が向上し、ひいては経済の繁栄や健康の向上につながります。地球全体の進歩について語る時、切り離す事が出来る指標も、目標も、国家も、一つとしてありません。持続性のある真の進展を実現するためにも、共に前進していかなければならないのです。

持続可能性という概念は、SDGsだけでなく、ロータリーの奉仕にとっても鍵となる考え方です。持続可能性とはすなわち、家族や地域社会に対して目標達成に必要なツールを提供することで、自分自身の将来に責任を持つ力を与えることなのです。

持続可能性という概念は、常にロータリーの中心にある考え方です。私たちは112年もの経験を有していますが、今後も活動の幅を広げていこうとしています。

ポリオ撲滅は究極の持続可能な奉仕です。このプロジェクトが終われば世界に永遠の恩恵をもたらすこととなります。これらの恩恵は、人類にとって一つの病気を撲滅したというよりはるかに大きいものです。ポリオ撲滅により、毎年およそ10億ドルのコスト削減ができると見積もられています。削減分は公衆衛生の予算に還元したり、ほかの差し迫ったニーズに割り当てることができ、今日の正しい業績を、より健全な将来へとつないでいくものです。

2) 横組P14～P17 「職業奉仕」はロータリーの根幹か？

今月は職業奉仕月間です。(2015-2016年度か

ら移動。以前は10月でした) 今回の記事は「職業奉仕」に関して日本のロータリアンが思い描いている伝統的な「職業奉仕」と世界のロータリアンが考えている「職業奉仕」に違いがあることを述べています。

私たちは、かつて「四大奉仕」(今では五大奉仕になりましたが)の中でも「職業奉仕」は、具体的な奉仕活動を伴う他の奉仕部門とは違い、奉仕の理念の職業への適用を謳った「ロータリーの目的」の第2項目に通じる、他の奉仕部門の上位概念のようなものであると、思っていました。「四大奉仕」の一部門に収まっていること自体がおかしいと、教わってきました。

しかし、日本以外の世界のロータリーでは、当然のように「職業奉仕」を他の奉仕と並ぶ一つの奉仕部門として位置づけているようです。

「五大奉仕部門」の定義がRI定款や細則に掲載されず、標準ロータリークラブ定款にだけ示されているのは、「個々のロータリークラブの活動のための枠組み」であるからです。

第一部門の「クラブ奉仕」では「行動」、第三部門の「社会奉仕」では「取り組み」、第四部門の「国際奉仕」では「クラブの活動やプロジェクト」、第五部門の「青少年奉仕」では「活動」、「プロジェクト」、「プログラム」などという言葉で、具体的に会員やクラブに行動を求めています。

ところが、第二部門の「職業奉仕」は、これまで、記述が明らかに異質でした。クラブ活動の枠組みであるはずの「奉仕の第二部門」としての説明が欠落していたのです。しかし2016年の規定審議会で、制定案16-10が採択され標準ロータリークラブ定款第5条の奉仕の第二部門である職業奉仕の定義に、アンダーラインの部分が増加されました。

第6条 五大奉仕部門

2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることがふくまれる。

職業奉仕月間 (Vocational Service Month)

「職業奉仕月間」は、クラブが職業奉仕の理念を日々、実践する事を強調するための月間である。この月間中に推奨されるクラブ活動には、地区行事でのボランティアの表彰、ロータリー親睦活動への参加の推進、職業奉仕活動または、プロジェクトの実施、未充填の職業分類に当てた会員増強の推進などが含まれる。

世界のロータリーでは、ロータリー財団のグローバル補助金を使って行うVTT (職業研修チーム)

も立派な「職業奉仕」と認識されています。

世界のロータリーでは、自分の職業上のスキルを生かした奉仕活動は、個人が行うものであれ、クラブが行うものであれ、すべて立派な「職業奉仕」の活動として活発に実践されているのです。

「職業奉仕」という言葉で、世界のロータリアンは、奉仕部門の一つとしての職業奉仕の活動を語り、日本のロータリアンは、「奉仕の理念」の職業の適用や自分の職業観を語る。このずれを解消できないでいることが、大げさに言うと世界のロータリー運動の中で、日本のロータリーの「ガラパゴス化」を招いている一因のように思えます。

日本の「職業奉仕」論は、「職業倫理」論

日本のロータリアンが得意な「職業奉仕」論は、世界では「(職業)倫理」というテーマで論じられています。ロータリーは職業人の集まりというその成り立ちから、昔も今も職業倫理を大事にし、強調する集団であることは間違いありません。

ジョンF.ジャームRI会長も就任前のインタビューで、「全てのロータリアンが持つべき、中核となる資質と人格は？」との問いに「最も大切な中核的価値観は『高潔性』です。高潔性がなければ何もないのと同じです。」と答えております。

高い職業倫理感を持った高潔な人格がロータリアンには求められます。

日本の伝統的な「職業奉仕」論はこのことを強調しているのだと思います。

私たちは、「職業奉仕」という言葉で「奉仕の理念」(の職業への適用)や、自分の職業倫理感をいったんやめ、五大奉仕の第二部門としての「職業奉仕部門」の活動だけに「職業奉仕」という言葉を使ってみる。「職業奉仕」という言葉でなく、世界共通の「奉仕の理念(奉仕の理想)」という言葉でロータリーの理念について議論を深めることが、良いのではないかとP.D.G.本田 博巳(前橋RC)は述べられております。

また、「奉仕の理念」を語るだけでなく、実践が大事であることは言うまでもありません。

日本のロータリー100周年に向けて

ジョンF.ジャームRI会長も「今ロータリーは、いわば転換期となる歴史的に重要な局面に立っています。」との現状認識を表明しております。

RIも日本のロータリーも地区もクラブも、いずれも大きな転換期を迎えており将来のための新たなビジョンが必要とされております。RIの方向性や現状に疑問や不満を感じる日本のロータリアンも増えていることですが、戦略的計画や、補助金モデル(未来の夢計画)に象徴されるRIの方向性に背を向けて日本独自の孤立路線を歩むのか、それとも世界的ネットワークの重要な一員として、理念と活動の両面で21世紀のロータリー運動にリーダーシップを発揮できるのか、大きな岐路にあるのではないのでしょうか。

日本のロータリーの現状と課題を明らかにし、

全国のロータリアンの合意を形成しながら、世界のロータリーに発信できる、日本のロータリーの希望あふれるビジョン（将来像）を描くことが今求められています。

3) 横組P20～P23 人類に奉仕するロータリー (第45回ロータリー研究会レポート)

今私たちロータリアンが特に関心を持っていることのひとつが、昨年4月に開催された規定審議会の結果です。ロータリーがどのような方向に向かっているか、ということですが、

「今回の規定審議会の中で最も強調されたことは、ロータリーは将来への備えができていなければならないことです。また、今回の規定審議会には2つの意義があることです。

1つ目は、クラブ運営に柔軟性を認める新しいルールが導入されたこと。

これは、クラブにとって様々な課題解決の選択肢が増えたことであります。

2つ目の大きな意義は、ロータリーの伝統的な基本理念や職業分類といった核心部分は変わらなかったことです。多様性に富む35000のクラブを一定のルールで一元的に縛るより、各クラブに対して、ある程度の柔軟性を認めることによって、各クラブのボトムアップの力で、会員基礎とクラブ活動の強化を図ってもらう方が、ロータリーの組織全体の発展につながるのではないかと、この判断が下された。

『会員身分の規定を変更する件』ではそれまでの、6分類全てを削除し正会員だけの記載となりました。地元のニーズに応じて新しい会員の種類をクラブ細則に追加し、クラブ会費、地区賦課金、食事、出席要件、奉仕活動参加について、独自にクラブが決定できることになった。重要なことは、私たちにとって長年の間常識であった、クラブ会員の権利と負担の平等原則を、会員身分の例外規定で覆すことが可能になりました。

また、日本の会員の特徴について「豊かな個人、事業経営者、裁量権のある会員が多く、奉仕に意欲を持っている成人で平均的な個人が極めて少ない。日本のロータリークラブは、規定審議会で採択されてきた会員の資格の緩和、民主化に、現状のままでは対応できる形になっていません。」現状を紹介し、「1業種1会員のクラブが、毎週の例会を通してアイデアの交換において、学び、切磋琢磨して職業奉仕にまい進することについて、肯定する立場です。

しかしながら、統一したルールで管理することの限界が露呈してきました。ロータリーが安定して発展を続けるためには、組織の改革が必要不可欠であると確信しています。長年、試験的プログラムを実施した結果、将来のロータリーを担う若い世代が入りやすいクラブ、地域の特性を生かした地域密着型のクラブなど、各クラブの自主性を大幅に認める案件を採択しました」とクラブ定款

の例外規定が採択された背景について紹介しました。そして「各クラブは、将来に向けて、今後どのように運営するか、はっきりとしたビジョンを決めて細則を変更する必要があります。今回の決定はロータリーの哲学を変えるものではなく、組織を変えるかどうか、クラブに委ねられているのです。それぞれのクラブの特徴を生かした運営をすることによって、入会者がクラブを選ぶ時代が来るかも知れません。」ロータリーの方法論は変わってきましたが、ロータリーの本質が変わったものではありません。ロータリアンは常に高潔性を持ち、多様性にあふれる素晴らしい方々の集まりであることは違いがありませんから。

ロータリーで私たちが実践している活動によって、世界の至る所で毎日、より良く、より安全で、より健康的な生活を送っている人たちがいます。人類に奉仕するロータリーがなければ、より良い生活が出来なかったかもしれません。

現在の状況については、「ロータリーは、今、まさに分岐点にあります。

ロータリーは30年以上も前にポリオ撲滅の活動を始め、あと一息のところまで来ました。ポリオ撲滅が出来たなら、ロータリーはしかるべき評価を受け、広報活動をしなければなりません。

今こそ柔軟性があり、皆を受け入れ、現会員と入会候補者のニーズに対応できるクラブを作る時期です。私たちが奉仕する地域社会を真に反映するクラブを築くことが出来る時期です。

正直さ、多様性、寛容、友情、平和を信じる人たちが、この地球に生かされている時間でできる最善のことは、人類に奉仕することだと信じている人たちが集まるのがロータリーです。

ロータリーの襟ピンを着けることを受け入れた時に、私たち一人一人が受け入れたのが、最善を尽くして人類に奉仕し、できるだけ多くの人たちの人生をより良くするという責務です。一人ではなく、チームとして、人類に奉仕するロータリーを通じて、共に未来を築いていきましょう。

4) 横組P24～P27 ロータリー財団100周年を祝う

緒方 貞子氏に「ロータリー財団100周年学友世界人道奉仕賞」他、財団学友の素晴らしい記事が載っております。本日は時間の関係上割愛させていただきます。是非一読お願いします。

5) 横組P30～P31 感謝の心は20年の時を経て

金沢RC国際奉仕委員長 松崎さんと、米山学友テムラック チャオさんの20年ぶりの世話クラブへの訪問の記事です。20数年前チャオさんは、金沢RCの米山奨学生で、「帰国後はロータリークラブの会長になる」と宣言し、約束通り2012年7月タイのポーサテッドナコンシーRCの会長になり金沢RCに来てそれ以来、両クラブの親交が深まり2015年～2016年度にグローバル補助金事業でタイの5つの小学校に浄水器の設置を行い、両ク

ラブの絆は現在も進行中との、心温まる記事でした。

私も2007年～2009年の2年間ベトナムからの米山奨学生（宇都宮大学）レ・フォン・グエン君のカウンセラーになりました。彼は、宇都宮大学卒業後、東京工業大学で学び、博士号を取得したいとの目標を持っていました。第1候補の夢はかないままでしたが、首都大学東京の大学院に進み、目標に向かって頑張っていました。私の所へも年賀状他何度も連絡は来ていましたが、3.11の東北大地震の後、両親から放射能の問題で帰国しなければならなくなった。と成田空港からの電話後帰国しました。2～3年前富田先生からレ君が今西那須野にいますのですぐ出てくるように言われ、お茶をしながら首都大学東京の大学院に通っていることなど話しをしたことが、昨日のように思われます。（実を言うと富田先生はレ君が本気で勉強したいとの気持ちを汲み、3年以上毎月5万円の奨学金を個人であげておりました。他言無用との事でしたが、もう時効ですので会員の皆さまにお伝えします。中途半端なロータリアンの私が、真のロータリアンを目指すようになったのもこの次期です。

帰国していた時のレ君の記事が「米山だより」に載っておりました。

「日本人を見ると話しかけずにはいられない。」との記事であったと思います。バックナンバーを探して、後日紹介したいと思います。

一期一会：人との出会いを大切にしていきたいものです。

「子どもの夢サポート・お昼ご飯付き 子どもの居場所についての報告」

NPO法人 キッズシェルター

理事長 森田 野百合様

日頃から、キッズシェルターに関わる子どもたちの事をご支援下さり、この場を借りてまずはお礼を申し上げます。

本日は、子どもたちの姿を見て頂きたいので、3分程のスライドを準備して参りました。最新の国勢調査によると、那須塩原市では家族形態が大きく変化し、夫婦と子どもの世帯は全体の28%です。単独世帯とひとり親世帯は合わせると37.5%です。つまり、お父さんがいてお母さんがいて子どもがいるという世帯は四分の一強だけなのです。一人で暮らしている、あるいはひとり親と子どもの世帯は合わせると37.5%です。家族で助け合う事が難しいのが現実です。

そして、県北児童相談所の虐待相談受付の状況では、那須塩原市の子どもが非常に多いです。誰が虐待してしまうかということ、実の母親が62%で実の父親と母親を合わせると8割弱が、実の親から虐待を受けている事になります。しかも、その子どもたちの多くは虐待が認められても、そのま



ま自宅で生活しています。

本来ならば施設で過ごすことが考えられる子どもたちもいるのですが、子どもたちの多くはこれまで施設で生活した経験があり、親や兄弟と離れたくない、転校したくない、この地域で暮らしたいと、強く思っています。

そこで、私たちは地域にいる厳しい環境の子どもたちを支援したいと願い活動しています。そのために、自主事業として利用者の負担金なしで、以下の3つのことをやっています。

1つは、子どもフードバンクです。地域の人々から食べ物やお菓子、衣類や文具など集め、必要な子どもたちに届けています。

2つめは、訪問型家族支援です。父子家庭の子どもや女の子の買い物や、車がない家庭の修学旅行の送迎支援、お弁当を作って届けます。

3つめは、西那須野ロータリークラブの支援を頂いて開設した「お昼ごはん付き子どもの居場所」です。

給食が無いと困る子どもたちがいるので、昨年7月23日の夏休みから毎週土曜日と、夏休み、冬休みなどの休みは水曜日と土曜日に、「お昼ご飯付き子どもの居場所」を提供しています。

これまでに27回実施し、子どもは述べ132人がお昼ご飯を食べました。1月7日は9人の子どもが来ました。角橋会長さんも柳場さんも来てくれました。朝から何も食べていない子どもたちです。基本的には送迎しているのですが、那須塩原駅付近から13キロも歩いて来た子もいます。学校も学年も様々な子どもたちですが、私たち大人を含めて家族のような感じでした。

家では言えない事や心配な事、聞いてもらいたい事等を伝えてきます。大人との関係で辛い思いをした子どもたちも居るので、優しい大人の存在が必要だと痛感します。

さて、昨年8月27日夏休み最後の日曜日に、ロータリークラブさんのおかげでバーベキューの体験をしました。そのときの子どもの日記を紹介します。「僕は今日、めちゃおいしいハンバーグをハーレー牧場というところで食べました。おじさんたちがいっしょくめんめい焼いてくれました。おみやげにビンの牛乳をもらいました。給食の牛乳とはぜんぜんちがいました。おなかがいっぱいになりました。夏休みどこにも行けなかったんで、最後にやっと絵日記に書く事があってよかったです。」

さらに、クリスマスには高級食材やプレゼント、ケーキ等を下さりありがとうございました。おかげさまで楽しいクリスマス会になりました。

「僕はいい子にしてもサンタは来ないけど、今年はプレゼントももらったしケーキも食べられたし、ごちそうもみんなで食べられたからいいんだ。」と言っていた子どももいました。

最後に、子どもたちには将来の夢を簡単に諦めないで欲しいと思います。

子どもたちのひとりひとりの夢を紹介します。

○学校の先生になって、僕みたいな子どもに優しくしたい。

○おいしいお米を作って、喜んでもらいたい。

○パティシエになって、お腹いっぱいケーキを食べたい。

○体を鍛えてお母さんをまもってあげたい。

ご清聴ありがとうございました。

農産物、お米、うどん、ラーメン、ノート、リング、文具、鉛筆、本、おもちゃ、衣類、納豆、クリスマスケーキ、高級和牛、牛乳などを頂きありがとうございました。本当は頂いたお一人お一人にお礼を申し上げたいのですが、紙面にて感謝のお礼を申し上げます。

スマイルボックス委員会報告

委員長 太田 仁君

高木 慶一様 明けましておめでとうございます。昨年はお世話になりました。今年も宜しくお願いします。

角橋 徹君 角橋年度後期もよろしくご挨拶致します。会員増強しましょう。

角橋 徹君 高木慶一ガバナー補佐、本年もよろしくご挨拶致します。

角橋 徹君 毎日新聞社柴田光二様ようこそいらっしました。

角橋 徹君 下野新聞社青柳修様ようこそいらっしました。

角橋 徹君 NPO法人代表森田野百合様本日はありがとうございました。

鈴木 明裕君 新年あけましておめでとうございます。森田様、高木様ありがとうございます。青柳様、柴田様宜しくお願いします。

水見 定明君 下期初例会を祝して。高木ガバナー補佐ようこそ。森田野百合さんようこそ。

益子 浩君 高木ガバナー補佐ようこそ。

益子 浩君 角橋さん、鈴木さんあと半年頑張ってください。小出さん、久保さんそろそろ準備開始です。

池嶋 英哲君 伊藤悟君入会おめでとう。

池嶋 英哲君 青学祝、箱根駅伝三連覇。大学駅

伝三冠。正月楽しかった。月井 美好君 新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

月井 美好君 ようこそ高木ガバナー補佐、森田様。

関谷 直人君 伊藤悟さんロータリーへようこそ。楽しくやりましょう。

関谷 直人君 榎本さん毎年暮れの贈り物沢山のゆずを有難う。お陰様で幾晩もゆず湯を楽しめました。

小出 文雄君 新年あけましておめでとう。今年が良い年でありますようにと10数か所のお寺、神社をお参りしてきました。3日かけて。

小出 文雄君 洗濯した1000円スマイルに。

岡部 稔君 下期初例会を祝して。

佐藤 正一君 高木慶一ガバナー補佐を迎えて。

佐藤 正一君 伊藤悟様の入会を祝して。

高橋 正晃君 高木ガバナー補佐ようこそ。新年第一例会を祝して。

松岡 衛君 新年おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

福本 光夫君 ①新年を祝して ②高木ガバナー補佐、青柳様、柴田様、森田様ようこそ。 ③伊藤悟様入会おめでとうございます。

寺崎 貴志君 本年もよろしくお祈り致します。今年も明るい年になりますように。

松本 善明君 おめでとうございます。

柳場美枝子君 新年あけましておめでとうございます。奉仕と笑顔で頑張っています。本年もよろしくお祈り致します。

大原 栄君 4人目の孫が誕生しました。

小中 一成君 本年も宜しくお願いします。

渡邊 将宏君 本年も宜しくお願いします。

星野 仁君 あけましておめでとうございます。

森 英夫君 本年もよろしくお祈り致します。伊藤悟様入会おめでとうございます。

久保 世一君 本年もよろしくお祈り致します。伊藤悟様入会おめでとうございます。

猪瀬 康雄君 本年もよろしくお祈り致します。伊藤悟様入会おめでとうございます。

小関 栄君 今年も宜しくお願い致します。

片柳 洋君 伊藤ジュニアさん入会ありがとう。拍手です。

片柳 洋君 角橋年度は学びの年度です。本年も皆で学びましょう。

片柳 洋君 角橋年度はまた奉仕実行年度です。皆さん奉仕を実行しましょう。

生駒 憲一君 早退おわび。今年もよろしくお願
い致します。
本人誕生祝 荒川久則君
奥様誕生祝 渡邊将宏君 小関 栄君
皆出席祝 早坂英一君

クリスマス会費 富田 勸君 榎本建司君
松岡 衛君

毎日新聞 2017年(平成29年)1月12日 栃木版

ロータリー財団100周年記念事業

こどもの夢・食事を伴うこどもの居場所

チャリティーオークション売上金寄付



下野新聞 県北版

2017年(平成29年)1月13日

ロータリー財団100周年記念事業
こどもの夢・食事を伴うこどもの居場所
チャリティーオークション売上金寄付

出席報告		出席委員長 猪瀬康雄君	
1月10日 第2176回(本年度第21回) 会員数41名			
出席	32名	前々回 12月13日	2174例会
欠席	7名	欠席	11名
出席免除者	2名	M・U	9名
出席率	82.05%	修正出席率	94.87%
欠席者		M・U	
青山 吉博君	澤田 次男君	青山 吉博君	松岡 衛君
榎本 建司君	鈴木ひろみ君	蜂巢 悟君	高橋 智純君
蜂巢 悟君		伊藤 進君	渡邊 涉君
伊藤 進君		瓦井 昇君	片柳 洋君
瓦井 昇君		益子 浩君	

	R C	曜日	例会時間	例会場	電話
姉妹友会 好ブ覧	パラニア	月曜日	19:00	(D.3830) エルクスラブ・コンベンションプラザ	
	東水原	木曜日	18:00	(D.3750) 京畿道水原市八達区仁溪洞1030-2番地3階442-834	82-31-238-7822
	桃園	金曜日	12:30	(D.3500) 福容大飯店	03-326-5800
	新座	木曜日	12:30	新座市東北2-25-11 第2かきの木ビル406号	048-475-1122
	郡山安積	火曜日	12:30	郡山市山根町8-7 ベルヴィ郡山館	024-923-1165
近隣会 クラブ 一分 ブ覧区	黒塩	水曜日	12:30	那須塩原市本町5-5 割煮石山	0287-62-0128
	塩原	木曜日	12:30	那須塩原市折戸148 塩原カントリークラブ内	0287-35-2211
	大田原	木曜日	12:30	大田原市中田原2082-3 KATSUTAYA	0287-23-4165
	那須	木曜日	12:30	那須町大字高久丙1 ホテルエビナル那須	0287-78-6000
	大田原	木曜日	12:30	大田原市中田原593-3 大田原温泉・龍城苑	0287-24-2525
	黒羽	金曜日	12:30	大田原市黒羽向町2 ホテル花月	0287-54-1105

事務所 いたう家 那須塩原市扇町7-12 例会日 火曜日 12:30 例会場 いたう家 那須塩原市扇町7-12
☎0287-36-0028 FAX36-2854 ☎0287-36-0028

※1月のロータリーレート 1ドル102円